



みなみおおすみ

みんなの議会

第62号

令和2年
11月号



P2

構成

議会・委員会

P3 ~ 5

予算

注目すべき事業

P6

審議

私の判断

P7 ~ 14

町政を
問う

一般質問 7名が登壇

P15

委員会

調査報告

佐多小・第一佐多中学校合同運動会

委員会構成が変わりました。



議長 大村明雄
副議長 浪瀬敦郎

令和2年9月 委員会の構成が変更になりました。

常任委員会	職名	総務民生常任委員会	教育産業常任委員会	広報広聴常任委員会
	委員長	水谷俊一	大久保孝司	木佐貫徳和
	副委員長	後藤道子	大坪満寿子	津崎淳子
	委員	松元勇治	日高孝壽	松元勇治
	〃	津崎淳子	浪瀬敦郎	後藤道子
	〃	大村明雄	木佐貫徳和	水谷俊一
〃			大坪満寿子	

議会運営委員会	委員長	大久保孝司
	副委員長	浪瀬敦郎
	委員	水谷俊一
	〃	木佐貫徳和
	〃	後藤道子
	〃	津崎淳子
	〃	大坪満寿子

議会選出監査委員

日高孝壽

※常任委員会の任期は2年間となっています。この他、必要があると判断された場合は、その都度、特別委員会が設置されます。

議会一部事務組合	大隅肝属広域事務組合	大隅肝属地区消防組合	南大隅衛生管理組合
	松元勇治	大久保孝司	津崎淳子
	木佐貫徳和	水谷俊一	後藤道子
			大坪満寿子

新型コロナウイルス感染症対策 高度無線環境整備推進事業補正！

一般会計補正予算

9月会議 3億7千44万円追加し
総額 94億6千748万円に！

9月2日、9月会議は川原副議長の逝去に伴い、副議長選挙が行われ、浪瀬敦郎氏が就任されました。又、総務民生常任委員会所属変更、大隅肝属広域事務組合議会議員の補欠選挙（P2詳細参照）が実施されました。

台風10号の影響で1日延期され、9月11日は7名の議員による一般質問が行われ、農政問題、社会保障基金創設、新型コロナウイルス感染症対策、公営住宅、スクールバスの運行、指定管理施設対策、鳥獣害対策、ねじめ幼稚園の園児減少について、森林振興策、馬毛島問題、財政計画など活発な議論が行われました。

また、補正予算等を含め、人権擁護委員の推薦、過疎地域自立促進計画変更、大中尾、大泊辺地総合計画の策定及び計画変更、南大隅町社会保障基金条例制定など審議され、可決されました。

補正予算の主なものには新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金による「新しい生活様式」を踏まえた地域経済の活性化等への対応として、町内光ファイバ網整備における「格差解消」を図るため、町内全域の未整備集落への光ファイバ網整備、本庁、支所の職員を一時的に分散配置することで職員の過密状態を緩和し、感染症対策をするための

分散勤務用モバイル端末購入事業、避難所等の停電時に給電及び災害救助活動現場での電力供給能力を確保するための防災対策車の購入、避難所での防寒対策用毛布、高齢者等の寝起きを援助するための簡易ベッド購入などがあります。

9月会議3日目の24日は、地方たばこ税を活用した分煙環境整備に関する陳情、町長の政治倫理条例に関する陳情2件は総務民生常任委員会に付託されましたが、その結果が委員長より採択の報告がありました。

南大隅町副町長の選任について審議され、白川副町長が同意可決されました。

南大隅町新庁舎議会関係システム購入事業で議場、全員協議会室、委員会室の内装補強工事等の増額変更も可決されました。

補正予算など議案5件を議決し、町長の政治倫理条例に関する陳情2件を採択しました。

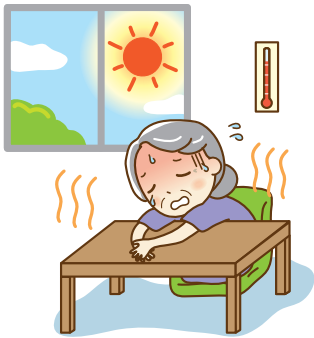
又、昨年度の決算8件を決算審査特別委員会に付託し閉会しました。



新庁舎議事堂



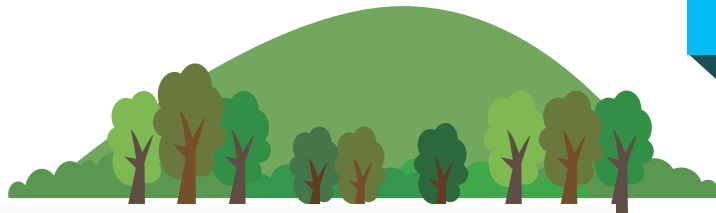
予算9月会議



高齢者世帯エアコン購入助成事業 250万円

新規

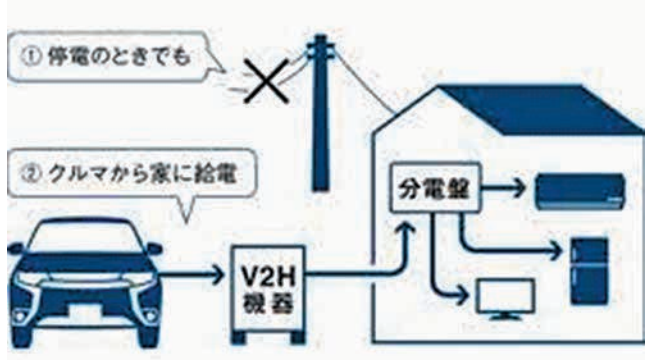
75歳以上の独居世帯、又は75歳以上のみの高齢者世帯に新たに冷房機器を購入・設置する場合に限り費用の一部を助成します。



森林整備促進助成事業 229万円

新規

森林所有者への間伐及び再造林・下刈りの推進を促し、所有者の負担軽減を図るために事業費の1割以内を助成します。



水産基盤機能保全事業 980万円

新規

田尻漁港沖防波堤先端部の補修



公共的空間安全・安心確保事業 (新型コロナ対策事業)

360万円

新規

サーモグラフィ (ハンディ型サーマルカメラ)
24万2千円×15台
 (神山小5台・佐多小2台・根占中4台
 第一佐多中2台・幼稚園1台・高校寮1台
 計15台)



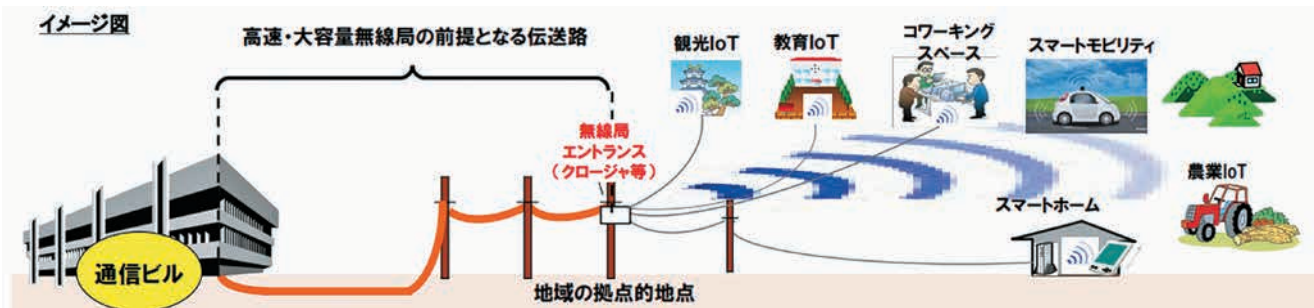
注目すべき補正

2次補正高度無線環境整備推進事業

1億8千万円

拡大

国庫事業を活用して町内全域の未整備集落への光ファイバ整備を実施します。



地元産材活用支援事業 (新型コロナ対策事業)

新規

500万円

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して地元産品を学校給食の食材として自活用します。
食材(米・豚肉・野菜・果物類・鮮魚貝類・農産物・ミニトマトなど)



防災活動支援事業 (防災対策車)

新規

1千192万円

停電発生時の避難所等への給電
防災・災害時緊急対応用の防災対策車及び可搬型給電器を購入



ワーケーション等支援事業

622万4千円

新規

「ワーク(仕事)」と「バケーション(休暇)」を組み合わせた造語「ワーケーション」、このワーケーションを支援するための環境整備などを行います。
観光や帰省などの休暇中に、テレワークなどインターネットやパソコン等を用いて仕事も当町で継続していただき、また、サテライトオフィスとしての活用など企業向けの新しい働き方を支援し、オンラインによる移住相談も合わせて促進します。



私の判断

(○…賛成、×…反対)

(7月の議案審議結果)

※議長は表決には加わりません。

		結果	浪瀬 敦郎	松元 勇治	津崎 淳子	後藤 道子	水谷 俊一	日高 孝壽	大坪満寿子	大久保孝司	木佐貫徳和	大村 明雄
予算	令和2年度一般会計補正予算(第6号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

(9月の議案審議結果)

予算	令和2年度一般会計補正予算(第7号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	〃 診療所事業特別会計補正予算(第1号)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	〃 介護保険事業(保険事業勘定)特別会計補正予算(第1号)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	〃 後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
条例	南大隅町社会保障基金条例制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
契約	「新庁舎議会関係システム購入契約の締結について」の議決の一部変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
計画	過疎地域自立促進計画の変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	辺地総合整備計画の策定について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	辺地総合整備計画の変更について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
同意	副町長の選任について	同意可決	○	○	×	×	×	○	×	○	○	—
諮問	人権擁護委員の推薦について意見を求める件(木佐貫 徳和氏-現在2期)	適任と申答	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
報告	令和元年度 健全化判断比率について											
	〃 資金不足比率について											
陳情	地方たばこ税を活用した分煙環境整備に関する陳情書について	採 択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	町長の政治倫理条例に関する陳情について	採 択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
発意	地方たばこ税を分煙環境整備に活用できる制度に関する意見書について	採 択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
発議	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方財源の確保を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

【条例の説明】

・南大隅町社会保障基金条例制定

町民の生活を守り、社会的サービスを充実するため、南大隅町社会保障基金を設置する。

計画の変更

◎ 過疎地域自立促進計画(追加)

- ・種子島周辺漁業対策事業(ねじめ漁業協同組合)…………… 生け簀改修
- ・大泊海浜公園多目的施設整備事業(南大隅町)…………… 海浜公園多目的施設整備
- ・水産物供給基盤機能保全事業「辺塚漁港・田尻漁港」… 防波堤改修(田尻漁港)
- ・根占地区ふれあい広場整備事業(南大隅町)…………… 自転車競技場周辺整備

◎ 辺地総合整備計画の策定

- ・町道白木原別府線改良舗装事業

◎ 辺地総合整備計画の変更

- ・大泊野営場整備事業
- ・大泊海浜公園多目的施設整備事業

副町長の選任について

- ・令和2年10月8日をもって任期満了となる【白川順二氏】(68歳)が再任(3期目)
起立採決により、5対4の賛成多数で同意可決

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書提出(関係政府機関等へ提出)

- 提出者 水谷 俊一
- 賛成者 大久保 孝司
- 〃 木佐貫 徳和

一般質問



質問順	質問事項	質問議員
1	<ul style="list-style-type: none"> ・農政について ・基金創設について 	大久保 孝 司
2	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策について 	木佐貫 徳 和
3	<ul style="list-style-type: none"> ・町が所有する団地について ・スクールバスの運行について ・新型コロナウイルス感染症対策について 	津 崎 淳 子
4	<ul style="list-style-type: none"> ・みなと公園トイレ改修について ・指定管理施設について ・アフターコロナ時代における観光整備について 	後 藤 道 子
5	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥獣害対策について ・ねじめ幼稚園の園児減少について 	松 元 勇 治
6	<ul style="list-style-type: none"> ・森林振興策について ・新型コロナウイルス感染症対策として行った、町単独給付金事業と財政の在り方について ・馬毛島問題について 	大 坪 満寿子
7	<ul style="list-style-type: none"> ・財政計画について 	水 谷 俊 一

一般質問は、議員が町の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点を資し、所信の表明を求めるもので、議員固有の権能として与えられたものです。

一人当たり持ち時間は、答弁を含め60分です。掲載されている内容は、質問者自身が要約し広報委員が構成したものです。

農業政策について



議員 本町ブランド作物である早掘りバレイシヨの作付面積は平成27年度125ヘクタールから令和2年度産は90ヘクタール迄減少しているが、令和3年度産作付面積はどのような状況か。

町長 J A 根占支所に8月末までの種芋注文数量により根占地区65ヘクタール、佐多地区25ヘクタール面積換算となり令和2年度と同程度の面積です。

議員 早掘りバレイシヨの過去3ヶ年間生産額減少が続いているが今後の対応策は。

町長 これまで種芋購入助成、野菜価格安定資金加入に係る掛金助成、バレイシヨ共済保険助成を行ってきたが、今年度は技連会により笹パウダーを使用したそうか病対策に取り組んでおり、結果が良好であれば普及拡大に際

し資材の導入支援等を検討してまいります。

議員 農政協議会に於いて面積減少等、課題解決の協議内容を示して。

経済課長 栽培者へのアンケート調査を行い260人の回答結果、平均年齢66・5歳、収穫作業が重労働であり、今後の栽培は拡大が2%、維持が6割、縮小が4割、後継者の有無では85%が無しという回答でした。最終的には安定価格の手段として県内全域でのリレー出荷の確立やそうか病対策の実施であります。

議員 ドローンによる薬剤散布の実演の実績は示されませんか。

経済課長 昨年、栽培者が見守る中実演デモを実施したが作業

委託の希望が極少数の状況でありましたが今後も省力化の必要性から進めてまいります。

議員 熱帯果樹類の産地化を推進されているなかで商品性の向上と販売促進は順調に進められているか。

町長 栽培面積、生産量ともに増加しており販売促進では新型コロナウイルス感染症拡大によりイベントはできない状況であるが、特産果樹類プロモーション事業ではパインアップル、パッションフルーツの食味評価会で高評価を受けています。

経済課長 生産農家数と栽培面積はアボカド29戸、330アール、パインアップル12戸、56アール、パッションフルーツ9戸、68アールであります。

議員 特産果樹類プロモーション事業のダンボール作成の状況と果樹類選果システム導入事業の説明を求めます。

経済課長 まずはパインアップル箱の作成、次にアボカド箱の作成を考えております。J A等の

出荷も当然ですが、町独自の箱を作成して南大隅町の作物を強調した販売体制をとってまいります。また、新型コロナウイルス対策費の地方創生臨時交付金でパッションフルーツ、デコポンの選果機械を導入するところです。

基金創設について

議員 社会保障に係る基金創設の必要性和り取り組む姿勢を示されたが創設の時期と金額、財源は示されないか。

町長 今回9月会議に於いて社会保障基金の創設に係る条例の制定及び積立金1億円の補正予算の議案を上げしております。

総務課長 財源は令和2年度の普通交付税を計画しております。

議員 特別会計繰出金に限らず社会保障全般に広く対応できる基金創設か。

町長 町民の生活を守り社会的サービスを充実するためと第一条に明記しており、社会保障全般に広く対応できる基金と位置付けています。

木佐貫 徳和 議員

新型コロナウイルス感染症 が本町で発生した時の対応は



町長 国や県の対応方針に沿って 指導を仰ぎながら行います 答

議員 町内において感染者が確認された場合、感染拡大防止のマニュアルはどのようなものか。

町長 感染の状況によって対応方法が異なってくる。国や県の対応方法に沿った指導を仰ぎながら柔軟に対応していきます。

議員 感染の状況によって、対応が違ってくるのは理解できるが、町民、教職員、児童生徒、役場職員などが感染した時は、それぞれマニュアルはできているのか。

町保健課長 本年4月には、感染者発生を想定したシミュレーション

を複数作成した他、職員の分散勤務体制も対策会議で協議しています。

議員 職員が感染した時、分散勤務の取り組みとタイムスケジュールはいつになるのか。

総務課長 分散勤務については、本庁から会計年度任用職員を含め、約45名程度を佐多支所に移す。タイミングについては、現在のところ本町および錦江町で陽性者が確認された時と考えています。

議員 次に、児童生徒が感染した時の、教育委員会の対応はどうなっているか。



教育振興課長 教育委員会では、県、保健所及び学校と連携を図りながら、学校閉鎖等の必要性や校内消毒など、今後必要となる措置について判断します。

議員 新しい生活様式で感染拡大防止対策をしながら地域活性化を図る必要があるが、今後どのような支援策を考えているか。

町長 国も経済対策と並行しながら、新生活様式を推進しています。商工業者をはじめ多くの方々が大きく影響を受けているので、住民生活を守る観点から活性化策に必死に取り組んでいきます。

議員 今後は、肉、魚、野菜等の消費拡大を図るための支

援をしなければならぬと考える。そのためにはプレミアム商品券につぎを思うが、今後増額の考えはないか。

町長 今回、コロナ関連で景気対策、経済対策等が国の方から2次補正が出ています。GOTOトラベル、並びに県もデイスカバー、この景気対策にテコ入れをしている状況であります。消費拡大を促す部分ではプレミアム商品券は非常に有効な手段だと考えます。発行済みの分は使用期限が11月末であるので、年末年始状況に関して、又消費拡大が必要と思えます。今後、要望並びに住民意見等を取り入れ、第2回のプレミアム商品券の発行を計画してもいいのではないかと考えます。



手洗い、うがい、消毒で感染予防に努めよう……

議員のひとり言

町が所有する団地の現状と要望等が挙げられているのか



町長 平成28年度に「南大隅町公営住宅等長寿命化計画」を策定し、年次計画に基づいて修繕工事等を行う予定です。修繕要望については随時、緊急性の高いものを優先的に対応しています。それ以外は、予算状況を勘案しながら個別に対応します。

議員 修繕によって耐用年数を延ばすならば、早期の修繕が必要です。今回、12団地を見て回り、109戸の住民にアンケートをお願いしました。回収率25%でした。切実な思いを受取りました。

- ・ビーチコーポテラス蔵1の蔵（玄関ドアの損壊）
- ・建部住宅（水道からのサビ）
- ・浜団地（老朽化による水回り）
- ・上之園第一団地（室内の雨漏り）
- ・大中尾第一団地（換気口破損によるネズミ侵入）
- ・大泊団地（水道管のサビ。団地眼前の公衆トイレの悪臭）
- ・辺塚団地（玄関ドア等のサビ・腐敗。フェンスが錆びて倒壊の恐れあり）

他にもありますが早急に改善を要望します。

建設課 それぞれの団地の改善については、現場を確認した上で緊急性のあるものは、即座に判断して対応したいと思います。

要望については、基本的には住民からの連絡・ご相談のうえ対応します。アンケートや意見の聴取方法は、今後検討します。

議員 次に、団地のハトの糞被害です。特に、建部住宅、蔵団地が多かったです。被害はご存知ですか。

建設課 2、3年前から聞き、2回ほど住民の方々に対してペランダの清掃や整理整頓をお願いする文書を団地に掲示しています。基本的には入居者の方での維持管理が前提ですが、改善されない場合は個別に検討・対応していきたいです。

議員 ハトの糞が原因でアレルギーや病気の発生になることもあります。また、悪臭や金属の腐食を起します。害虫が発生します。代表例がゴキブリでハトの糞をエサにするそうです。

ネットをしても不十分でまた、高齢者や女性の方はネットの設置ができず、空き室や掃除の行き届かない部屋もあります。行政でネットの設置ができないか。

建設課 維持管理や清掃、ネットの設置等、原因を調査し検討していきます。

議員 団地の住民の健康を守る為にも、団地の長寿命化の為にも要望します。

現行のスクールバスの乗降場所の見直しの考えはないか

教育長 毎年、全員の利用申込書を受け付け、主要道路を基準に希望場所を確認して乗降場所を決めます。見直しは、転居等の場合、申し出により行っています。

議員 山あいに住む生徒でバスの乗降場所から支線に入った所で夕方500mぐらい街灯がなく暗闇で人も車も全く通らず、自宅まで空き家しかなく猿も出没します。安全を考慮するなら近くまで検討すべきかと。他の路線でもこのような場所があるかもしれません。

教育課長 今後、現地を調査して精査し検討します。

議員 子どもたちや保護者の声を聞き、子どもたちが安全に通学できるように、柔軟な対応を要望します。

自衛隊佐多辺塚射撃場にて自衛隊が駐在するが、コロナ対策をされているのか

町長 約3ヶ月間、延べ2千人が駐在され、コロナ対策を講じる旨を事前に説明を受け、必要な感染対策を十分に講じた上で訓練が実施されたものと認識しています。

議員 コロナが疑われた時の対応が一番必要です。町内の医院、診療所を受診し、クラスターが発生したら町内の医療が麻痺します。また、町民にも広がります。来年、ワクチンが開発されたら、自衛隊全員ワクチンを接種されてPCR検査並びに抗体検査を受けていただきたいです。そうすれば、医療側も町民も辺塚の住民も安心できると思います。

この他に、
・「現在のコロナ対策に新たな対策はないのか」で、「誹謗中傷について」聞きました。

議員のひとり言

団地の老朽化、有害鳥獣の対策、子どもの安全、コロナ対策…課題は山積みだ!!

後藤 道子 議員

みなと公園のトイレ改修について



町長 大隅地域振興局へ早急な事業実施に向け要望していく考えです

議員 令和元年12月定例会において、「みなと公園のトイレ改修について」の答弁に対する対応措置をどうとったか。

工光長 商観課 翌年の一月に県へ電話で要望をお伝えしました。今回の質問を受けて、改めて確認した時点では、実施については、緊急性、優先位を含めて、検討しているところとの回答をいただきました。

議員 前回の答弁の中で町長が県の所有物件なので改修は県の許可なしには町単独ではできないとの回答をされました。今の県からの回答だと緊急性が無いと判断されていると感じます。
現在、遊具を設置されたり、グラウンドゴルフなど利用者は以前に比べて増えている状況をどのように捉

えているか。

工光長 商観課 遊具が設置された後、また、グラウンドゴルフ等でも、本当に利用者が増えていることは把握しています。

議員 併せて改修の必要性も担当課としては、十分認識をしています。

議員 県が今現在の緊急性は無いという事ならば、町として改修ではなく、老朽化しているのので、建て替えを要望する考えはないか。

工光長 商観課 県が所有するトイレはバリアフリー化も含めて調査があります。現在のトイレは、昭和55年に作られていますので、町としては建て替えの方向で要望をする考えです。

議員 大浜海浜公園、道の駅根占の老朽化により使用できない部分をどうするか。

町長 アドベンチャースライダーとバンガローは、平成5年4月のオープンから27年を経過しており、管理道路を含め老朽化が進んでおります。また指定管理者からも急傾斜地の立地条件等により使用を控えたい旨の要望で現在は閉鎖している状況です。安全面や景観等にも配慮し、撤去

アフターコロナ時代における環境整備について

町長 光ファイバを町内全域に網羅

議員 今後、経済産業省はデジタルを住民生活にも浸透させていただきます。ハード面の整備もですが、ソフト面も同時にやらなければなりません。

議員 我が町は、少子高齢化や過疎化がどんどん進み労働人口が減っていく状況の課題に対応するためにもデジタル化は必要不可欠です。新たな試みの必要性についてどの様に考えておられるか。

も含め対応を検討してまいります。

議員 令和2年度の当初予算で公共施設等総合管理計画に7百31万5千円を計上されています。これは施設の長寿命化廃止集約等の優先順位を総合的に協議判断し計画的な維持管理に努めるための予算だと認識しています。今後も台風などの大雨の際には砂が流れ出してくる危険性も高いので、その辺りを十分踏まえながら管理を徹底していただきたい。

町長 新たな取組はそれぞれに必要な状況だと思えます。例えば農業政策、畜産、福祉分野でのスマート化に着手するタ

町長 開発やシミュレーションの部分では広域で行い、慎重にそしておかつ大胆に進めていきたいと思

コロナを恐れてばかりでは、前に進めない!! 自己免疫力アップが大事。

議員のひとり言

鳥獣(野生動物)による農産物への被害対策について



町長 被害対策として捕獲・追払い・電気柵・防護柵の設置の推進を行います。

議員 過疎化による耕作放棄地が増え人里にも被害が多くなる状況の中、何度も畑を荒らされると生産意欲を失い、離農のきっかけにもなると思われませんが防止策は。

町長 農産物被害防止として、10アール以上の農地に対し、電気柵の事業費の上限を野猿用15万円、イノシシ用10万円として、事業費の2分の1を助成し、また、防護柵10アール以上は上限20万円とし、2分の1を助成しております。令和元年度は、電気柵34件、防護柵6件、補助金の実績額156万円となっております。

議員 個人の畑、菜園など民家の近くも被害が出ている現状にどのような対策があるか。

経済課長 基本的には、現在運用している鳥獣害防止施設事業の実施要件に該当していません。菜園を持たれている高齢者の方にとっては、趣味と実益を兼ねたものであり、被害にあわれた事は残念に思います。集落単位で排除を行い、寄せ付けない対策を行う。先進地や専門的な助言を参考に、本町に合った取組みを地域で、皆で行う考えでおります。

議員 今までの鳥獣被害に関しては行政・農政の方の考えがあつたと思いますが、少量作物ながら、生きがいとして生産する人たちの思いの中にも、鳥獣の被害があるというのを十分考慮していただきたいと思います。



ねじめ幼稚園の将来展望をどのように考えるか

教育長 ねじめ幼稚園の魅力発信、園児確保に今後も努めていきます。

議員 本町においても少子化が進む中、町内にある幼稚園、保育園の児童数の差について、現状をどう捉えているか。

教育長 幼児人口の大幅な減少、両親共働き世帯の増加などによる保育園へのニーズの増加などにより、園児数は減少傾向にあり、本年度は年少2名、年中5名、年長6名、計13名が通園しています。このまま減少していくと、園の維持も難しい状況になります。

町長 園の維持存続については、様々なご意見を伺っているところでございます。今後、10名を切った際は幼稚園の在り方について、検討してまいりたいと思っております。

議員 将来の展望は。

教育長 園児の生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な幼稚園教育の必要性を鑑み、具体的には外部講師を招いて定期的に自転車・運動教室・英語遊びなどを通して、機能、能力、育成を図っていきます。

地域住民と密着した多くの体験活動や親子の関りを深められる活動の実施、小学校との連携が図られ、スムーズな小学校への移行ができるなどが魅力として挙げられます。満3歳から入園可能や、預かり保育の充実により18時までの預かり、長期休みの預かり保育も実施いたします。

議員 保護者からすると、幼稚園、保育園それぞれ、メリツトが多くある中で選択肢がいいと思われれます。十分PRをしていただきたいと思います。



議員のひとり言

真摯に受け止める態度が必要

森林振興策は

近年の自然災害の激甚化、頻繁化を踏まえた対策として適切な森林整備を推進することが重要と認識しています



議員 伐採後、植栽せずそのままの山があるが、伐採面積と伐採後の植栽の割合は。

経済課 過去五年間で181ヘクタール伐採され伐採後の植栽は約37%です。

議員 伐採後の植栽率が低いのは、植栽されずそのままの山林は大雨などにより山崩れの危険性が高まると考えるが。

町長 植栽面積の37%は県の水準とほぼ同等と聞いています。苗木不足や人手不足の状況もあると考えます。

議員 成長が早く再生力、利用価値があるクヌギを南大隅

町独自の取り組みとして森林環境税を活用し植栽する考えはないか。

町長 成長が早い特性があり、保水機能や急傾斜地の植栽に適した樹種なので森林計画で定める森林区域の水源涵養機能区域や山地災害区域での植栽を推進していきます。

議員 クヌギのもう一つの魅力として、クワガタやカブトムシなどの昆虫が集まる特性があります。さたでいランド等、宿泊施設を利用し昆虫の森として全国に発信、子どもたちの自然観察や学習の場として拡散できたら素晴らしいと考えます。是非、推進してほしい。

町単独給付金事業について

町長 国の給付金と同時に実施できたことと認識しています。基金を活用したお金の利息を町民全員に配布しようと考えました。

議員 南大隅町は小規模自治体です。通常、他市町村の事例を参考にすると考えるがどうだったのか。

町長 できるかできないかは、各自自治体の財源力なので我が町ではできると判断しました。

議員 プレミアム商品券もあつたが、特定の町民へ偏つたと聞くがどうだったか。

工光長 商観課 先着順だった為に購入できない方がおられたと聞いています。商工会でも検証され次回に活かされると考えております。

議員 コロナウイルス感染症の影響で国においても企業収益が大幅に落ち込み、法人税など

の収益も見込めず厳しい財政運用になる事が予想されます。将来子どもたちに大きな負担が掛からないよう今後の財政状況に議会としても、責任をもって注視していくべきだと考えます。



馬毛島問題

町長 8月に九州防衛局から現状説明があり、本町に最も影響があると思われる騒音については正確に見積もることはできないという事でありました。

南大隅町の基幹産業である農畜産業、漁業への影響はもちろんですが、騒音による町民への健康被害も心配されます。

議員 町民が安心安全に暮らせるよう、又、地元の意見がうやむやにされないようしっかりとした強い姿勢で対応、判断していただくよう望みます。

南大隅町は山林王国。育てよう美しい森林と災害の無い森林そして後継者。

議員のひとり言

100億円を超える 地方債の具体的な返済計画は



町長 地方債償還等に対応できる積立が、計画通りできたと考えます

議員 地方債残高と公債費が最も高くなる年とその金額は。

総務課長 地方債残高のピークは令和2年度で約110億円となり、元利償還額のピークは令和4年度で、年間約12億円となる見込みです。

議員 具体的な返済計画は。

総務課長 普通建設事業でおよそ大型のハード事業が終了したことから、令和4年度からの借入額を約7億円程度に抑えていくことを想定し、令和6年度までの財政見込みを立てています。

議員 年間の返済額をおよそ10億円とする時、7億円の借入をすると、地方債残高は3億円しか減りません。10年間で30億円、10年後に110億円が30億円しか減らない、これで10年後は大丈夫かなと思います。私は、年間5億円位は減らすべきだと考えます。それでも、10年後に60億円残ります。10年後の60億は、非常に重たいものになるだろうと私は考えます。町長は、年間どれくらい地方債残高を減らせば良いと考えるか。

町長 非常に危機感を持っていらつしやるお話で、冒頭、小学生がうちの町の借金を憂いてというような話もされ、私、この子どもたちがうちの町の将来のこ

とを考えて、そういう心配をしてくれるというのは非常に良い事だというふうに思っております。ただ、残念なのは、そこでちゃんと説明してくれる人がいてくれたらそれなりに安心したのかなという気はしております。これからの状況は財務の人間が一生懸命コミュニケーションをしておりますし、その状況の中では、きつちり返せる時に返していく状況になっていくのではなからうかと思っております。

議員 本町の財源について考えてみようと思います。アバウトですが、税収とその他の収入で15億円、地方交付税が30億円、国県の支出金が10億円で55億円です。後は借金をするか貯金を取り崩すしかないのです。そこで、地方債を5億円借入れ、基金を5億円取り崩し65億円。これが本町財政のあるべき姿だと考えますが、町長の考えは。

町長 私もだいたい63億か64億ぐらいがうちの町の標準ベースかなという風に思っております。65億をちょっと下回ったくらいが妥当な線だと思っております。

議員 錦江町の今年度の当初予算は62億円です。非常に堅実な予算です。まったく同じような人口、同じような財源の似通った町。やはり、我々のあるべき姿も同じだと思います。しかし、人件費・扶助費(社会保障費)・公債費(地方債の返済金)などの義務経費だけで30億円を超えます。これらは、必ず支払わなければならないもので、削減するのは難しい経費です。それに、維持費や補助金などの経常的経費が30億円。これらは、行政機能を維持する為の経費や、住民サービスに係る経費等です。これで60億円が必要になります。他に建物や道路などの整備また新たな事業を実施しようと思えば予算は膨れ上がっていきます。65億円の予算を目標にするなら、何かを削減していかないと実現できません、様々な取捨選択を明確にされたうえで、今後の財政運営に当たっていただきたい。

本町の令和2年度当初予算は76億8千万円で9月末では94億6千万円となっております。

議員のひとり言

子どもには未来に対する夢や希望を持たせてやるのが大人の責任、決して不安を持たせる事ではない

所管事務調査報告

今年、新型コロナウイルス感染症拡大対策などにより商工業、観光産業などに、多大な影響がある中、町内の指定管理施設においても、経営的深刻な状況にあります。6月定例会後に設置された指定管理施設等調査特別委員会において調査しました。

現地視察 意見

● 7月14日、商工観光課の所管の施設を調査することを決定し、8月4日、商工観光課より過去3ヶ年の利用者の推移及び収支状況を説明、委員からアンケートなど利用者のニーズを捉え生かすべき。

● 8月18日、指定管理施設現地調査を行い、管理者との意見交換、指定管理の期間延長や施設管理者の修繕費の負担見直しを検討すべき。



ネッピー館



ホテル佐多岬

指定管理について 勉強会

9月16日、IHU(株)湯遊ランド須崎館長による「指定管理者制度のあり方」について講話していただきました。

指定管理者制度では、「PPP(官民連携)が一番大事なことで、自治体と事業者が常に連携しチェック機能を持つことで、施設管理には設備及び管理に知識があるか重要である」、「厳しい状況が予測されるが、大都市圏や密集地域が敬遠される時代で、過疎地域では大きなビジネスチャンスとなりうる」という講話でありました。



勉強会

町長へ要望事項

- 一、新型コロナウイルス感染症等の影響に対して継続も含め、柔軟な対応を検討されたい。
- 二、町と指定管理者が管理運営について、常に連携する体制を構築されるよう検討されたい。
- 三、施設の維持修繕について、費用負担の見直しを検討されたい。
- 四、常に社会情勢や利用者のニーズを捉え、活かす体制を検討されたい。

川原拓郎副議長逝去

川原副議長は、去る8月14日、不慮の事故により逝去されました。

平成12年佐多町議員として当選され、以降南大隅町議員を含め20年もの長きにわたり、町制発展と福祉の向上に心魂を傾け尽くしてこられました。

行政全般にわたり卓越した見識を持ち、特に農政については造詣が深く、畜産振興、野菜振興など、農業者の声を代弁されておりました。生前のご功績をたたえつつ、心からご冥福をお祈り申し上げます。



在りし日の川原副議長

編集後記

季節の移り変わりは早いもので、暑さも納まり、朝夕冷え込む季節となりました。

コロナウイルスの影響で五十六年振りに開催予定だった東京オリンピック、パラリンピックが来年に、四十八年振りの鹿児島国体も三年後の延期が決まりました。町内でも各種イベントや行事が中止や規模を縮小して行われています。

コロナウイルスと共存する新生活様式は不自由ではありますが、ウイルス感染症には必ず収束の時が訪れるはず。もう少しの辛抱だと信じて頑張りましょう。

コロナウイルスの為、議会モニター会議も開催できずモニターの方々の御意見を議会広報誌に反映できないことが残念ですが、これからも町民の皆さまから「みんなの議会、楽しみにしているよ。」と言われる紙面作りに努めます。

議会に対するご意見、ご要望、「みんなの議会」を読まれた感想などお寄せください。

大坪 満寿子

表紙の風景

「佐多小学校、第一佐多中学校合同運動会」



お知らせ

12月会議は、10日（一般質問）、11日、18日、本庁議事堂（新庁舎）で開催予定です。

「みんなの議会」で見る事ができない議会が、ご覧になれます。詳しい日程等は議会事務局までお問い合わせください。

発行責任者

議長 大村 明雄

広報広聴常任委員会

委員長 木佐貫徳和
副委員長 津崎 淳子
委員 松元 勇治
委員 後藤 道子
委員 水谷 俊一
委員 大坪満寿子